

静岡市立長田東小学校

古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月3日(木)

長田東小学校は、大規模校なので午前と午後に分けて体験をしました。コロナウイルスへの感染防止のため、玄関で初めの式を行いました。展示室の見学、土器の分類体験、石器の試し切り体験、火起こし体験を短時間で行ったこともあり少し忙しかったかもしれませんが、教科書に載っている土器や石器などの歴史的遺物を間近に見、実物に触れることができ感動していました。この体験が、今後の社会科の授業に役立つものになることを期待します。

◎展示室見学



展示室の見学は、各クラス2班ずつ3グループに分け5分ずつで巡回し、残り15分は「自分のお気に入り」を細かく観察することにしました。ワークシートに丁寧に絵を描いたり、気づいたことをメモしたりして意欲的に活動していました。



◎土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3つの土器片を分類しました。それぞれの特徴を理解し、わかりにくいところは聞きながら、熱心に話し合いをして分類することができました。



◎石器の試し切り体験

石器の試し切り体験は、石器の歴史の話を聞いた後、持参した野菜くずや新聞紙などを黒曜石で切りました。切れ味が鋭くて驚いていました。



◎火起こし体験

火起こし体験は、体験時間が少し短いことと風が強いことと思うように火種を作ることができず、すべての班が火を起こすことはできませんでした。それでも、弾み車をリズリよく回すことができるようになった班は、何度も火をつけることができました。火起こしの難しさを知ることができ、貴重な体験になったようです。

